

兵庫県ではこれらの支援を進めていきます

I

子ども・若者の
自立支援と
ライフデザイン構築

II

結婚・妊娠・出産の
希望が実現できる
切れ目のない支援

III

幼児教育・保育と
子育て支援

IV

男女ともに子育てと
両立できる
働き方の実現

V

子どもと子育てに
温かい地域社会づくり

VI

特別な支援が
必要な子どもや
家庭への支援

プランに基づいて、若者に「家族を持ち子育てするなら兵庫」といわれる環境をしっかりと整えるとともに、
「少子対策・子育て支援に全力で取り組んでいく」というメッセージを地域や住民に広げ、
県民一人一人が子どもや子育て世帯をやさしい眼差しで応援するという機運を醸成することで、
子どもや子育てに寛容で温かい地域社会や風土をつくり、
子育ての喜びを地域みんなで分かち合っていける兵庫を目指していきます。

詳しくはこちらから ▶

兵庫県 未来プラン

検索

兵庫県子ども・子育て支援推進本部
(兵庫県健康福祉部少子高齢局子ども政策課)

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL 078-362-4232 FAX 078-362-3011
E-mail kodomoseisaku@pref.hyogo.lg.jp
HP https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf11/hw08_000000001.html

02健P2-136A4

ひょうご 子ども 子育て 未来プラン

2020-2024



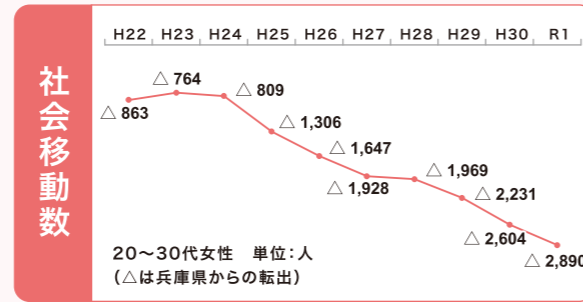
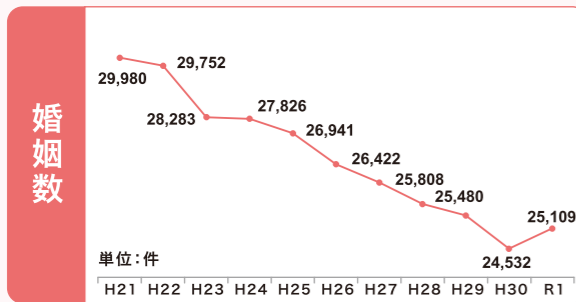
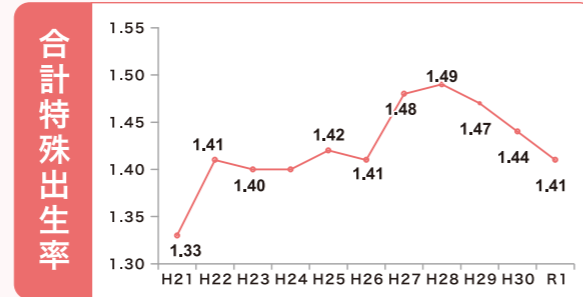
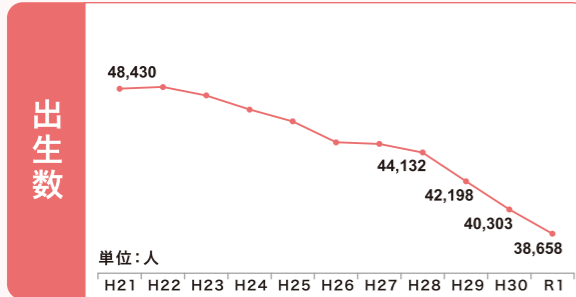
若い世代の婚姻率の低下、晩婚化の進展、出生数の減少がより深刻な問題となっています。
このため、「令和」という時代は、若者が就業や結婚・子育てに夢を持てるものにしなければなりません。
少子化は様々な要因が複合的に作用した結果起こっているため、
その対策は就業・結婚・妊娠・出産・子育てまで多岐にわたる切れ目のない施策を、
長期的な視点に立って、総合的・体系的なパッケージとして粘り強く実施していく必要があります。
この計画が「ひょうご子ども・子育て未来プラン」です。

兵庫県

出生数の現状

年間の出生数は僅か10年で約1万人減(△20%)
婚姻数の減少や若年女性の転出が進む

急激な少子化の進展



若い世代の婚姻率の低下、晩婚化の進展、出生数の減少は
未来を脅かす問題となっている

現状の課題

出生数減少

合計特殊出生率の低下
第1子出産年齢の上昇、第2子の壁

女性人口減少

20~30代の女性の転出超過
(特に20代女性が就職を機に転出)

婚姻数減少

20~30代の女性の婚姻件数・
有配偶率の減少、初婚年齢の上昇

若者雇用

非正規雇用など就労が安定しない
20~30代の多くは、結婚に至る
経済力を持ってない

待機児童

女性就業率は上昇し、保育所等定員増数を
上回る保育ニーズが発生

男性の家庭参画

男性の育休取得率は非常に低く、
育休取得期間も非常に短い

児童虐待

児童虐待の相談受付件数は過去最高
全国で深刻な虐待事件が発生



少子化は、様々な要因が
複合的に作用して起こっている

次の5年に向けて

基本理念

安心して子育てできる兵庫の実現

重点テーマ

若者が就業・結婚・子育てに夢を持てる兵庫

数値目標

合計特殊出生率 **1.41**
計画期間中2020年水準の1.41を維持

出生数 **18万人**
2020~2024年の5か年の合計

待機児童数 **0**
2021.4.1以降待機児童数0を維持

20~30代女性の社会移動数 **均衡**
2024年に転出・転入均衡を達成

婚姻件数 **27,000件**
2024年に達成

目標

- 1 豊かな人間性を育み、若者が就業や家族形成に
明るい展望を持てる社会づくり
- 2 結婚、妊娠・出産、子育ての希望が叶う環境づくり
- 3 仕事と生活が調和し、男女がともに職場や家庭で
活躍できる社会づくり
- 4 子どもが健やかに育つ安全・安心な社会づくり

